

採点基準 世界史B

◆以下の採点基準は原則です。実際は個々の答案の状況に応じて採点しています。

- ※ 判読のつかない字は加点しない。
- ※ 漢字の軽微なミスは2点配点の場合、1点減点とする。ひらがな表記は加点しない。
- ※ カタカナ表記の軽微なミスは2点配点の場合、1点減点とする。
- ※ B音→V表記は2点配点の場合、1点減点とする。
- ※ 番号で答える問題は、正答の語句を書いても加点しない。

1 古代ギリシア史 (配点 25点)

※ 別解なし

2 戦後のアジア・アフリカ諸国 (配点 25点)

問1 [B] ラオス王国 可

ラオス人民共和国 不可 (独立当時の名称ではないため)

[G] 1960年× 許容

[H] ド=ゴール大統領×

[I] ポル=ポト首相 可

[J] ルワンダ内戦× 許容

問2 ムハンマド==ジンナー 可

問3 10点満点

※指定語句がすべて使われていない場合は満点にしない。

※指定語句に下線を付していない場合は全体から1点減点 (個数は問わない)。

- ① イギリスがフセイン(フサイン)・マクマホン協定(書簡)を出したこと…1点 ※「条約」は不可
- ② ①はアラブ人(王族)へ出したこと…1点
- ③ イギリスは(①で)オスマン朝からの独立を約束していたこと…1点
- ④ ①にはオスマン朝を内部から脅かす目的があったこと…1点
- ⑤ イギリスがバルフォア宣言を出したこと…1点
- ⑥ ⑤はユダヤ人に向けて出されたこと…1点
- ⑦ ⑤はシオニズムを援助するものだったこと…1点
- ⑧ (シオニズムは)パレスチナ復帰運動であること…1点
- ⑨ (①・⑤に触れた上で)①と⑤が相互に矛盾するものだったこと…1点
※「アラブ人・ユダヤ人双方から協力を引き出そうとした」なども可
- ⑩ イギリスが秘密裏にサイクス・ピコ協定を結んでいたこと…1点 ※「条約」は不可
- ⑪ ⑩はフランス・ロシアと結んでいたこと…1点
- ⑫ ⑩は①・⑤の内容に反するものだったこと…1点
- ⑬ イギリスはパレスチナを自己の管理(委任統治)下に置いたこと…1点

問4 スーチー, アウンサンスーチー 可

問7 ローマ帝国 可

3 オスマン帝国の発展と衰退（配点 25 点）

問 4 ブルガリア王国 可

4 19 世紀のヨーロッパ（配点 25 点）

※ 別解なし

以上